

2026年1月15日

各 位

株式会社マーキュリアホールディングス  
Airborne Capital Limited  
株式会社大和証券グループ本社  
大和アセットマネジメント株式会社  
大和かんぽオルタナティブインベストメント株式会社

## オープンエンド型航空機ファンドへの取組みに関するお知らせ

～オルタナティブ投資のフロンティアである航空機投資へのアクセスを投資家に提供～  
～オープンエンド型は本邦運用会社として初の取組み～

株式会社マーキュリアホールディングス（以下、「MHD」）の子会社である株式会社マーキュリアインベストメント（以下、「MIC」）及びアイルランドに本社を置く航空機アセットマネジメント会社であるAirborne Capital Limited（以下、「ACL」）は、新たにオープンエンド型※の航空機ファンド（以下、「マッハ OE」）を共同で設立し運営することになりました。

MIC 及び ACL はこれまで共同して日本の投資家に適したポートフォリオを組むクローズドエンド型の航空機ファンドを提供してきましたが、投資家の裾野を広げるために、近年の航空機投資に対する関心の高まりを受け、マッハ OE は従来のファンドから発展させ、新たにオープンエンド型の航空機ファンドを提供いたします。このマッハ OE は本邦運用会社が手掛ける航空機ファンドとして、オープンエンド型で提供される初の取組みです（MHD 調べ）。投資資産規模は約 1,500 億円を目指しており、株式会社日本政策投資銀行（以下、「DBJ」）がファンド立ち上げ期間におけるアンカー投資家として参画を予定している他、金融機関や年金基金、事業会社、学校法人等の機関投資家を主な出資者として見据えています。

この新たな試みについて、株式会社大和証券グループ本社（以下、「大和証券グループ本社」）のグループ会社である大和かんぽオルタナティブインベストメント株式会社（以下、「DKAI」）は、投資家に対するマッハ OE の紹介、運用サービスの提供等の支援を行ってまいります。また、マッハ OE の発展を支援するべく、今般、DKAI は MIC 及び ACL との間で戦略的業務提携にかかる基本合意書を締結しました。

※オープンエンド型：ファンド運営期間内において途中での投資・解約が可能なタイプのファンド

## ■ 昨今における航空業界の状況

2020 年に発生した新型コロナは、航空業界にも未曾有の混乱をもたらしましたが、航空旅客需要は既に新型コロナ前の水準以上に回復し、世界の経済成長に合わせて伸長しています。一方で航空機の供給は新型コロナ期間中におけるサプライチェーン縮小等の影響から、需要に見合うだけの十分な機体が生産されておらず、航空機生産メーカーは 7 年以上の受注残を抱えて、航空機不足の状況は 2030 年代前半まで解消されないとと言われています。MIC は、新型コロナ後の困難な市場環境下においても継続的に航空機投資事業に関わり、ノウハウと実績を積み重ねてきました。

## ■ マッハ OE の投資戦略

MIC は、2017 年に MIC として初めての航空機ファンドを組成し、その後 2022 年には本邦企業として新型コロナ発生後、初となる航空機ファンド「マッハ 1」を ACL と共同のもと組成し、両ファンドとも現在運用中です。新型コロナによる全世界的な航空機産業への予期せぬ影響を受けましたが、困難な状況に対処する一方で新型コロナ期間中も投資を継続することによって航空機投資事業におけるノウハウと経験値を蓄積してきました。

これまでのマッハ 1 におけるパートナーシップ及び実績を踏まえ、MIC と ACL は共同でマッハ OE を立ち上げることを決定しました。マッハ OE は、需要の高い航空機材に投資し、厳選された信用力の高い航空会社へのリースを通じてキャッシュフローを創出することによって、投資家に安定的なリターンを提供することを目的としています。

また、マッハ OE はオープンエンド型のファンドとして組成されており、投資家が投資の参入及び退出のタイミングを柔軟に選択できる点が特徴です。これは、航空機投資分野における他の多くのファンドが、予め投資期間が定められ、運用期間中の流動性が提供されないクローズドエンド型であることを踏まえると、非常に革新的な取組みと言えます。

ACL は現在世界 20 カ国超で約 50 機、総額 2,300 億円規模の航空機リース資産を管理しており、航空機ファンドや ABS など第三者資金の運用において長年にわたる実績を有しています。また、経営陣はこれまでに 600 機超の航空機の売買に携わった経験を有し、航空機関連アドバイザリー分野でも豊富な実績を持っています。日本においては MIC と共同で機関投資家向けのファンドを運営する一方、大和証券グループとの間では両社の合弁会社である大和エアボーン株式会社を通じて主に富裕層に対して航空機投資機会の提供を行っています。

## ■ 大和証券グループが本件に参画する背景

大和証券グループでは、グループ経営基本方針として「お客様の資産価値最大化」を掲げ、オルタナティブ資産等の新たな投資機会の提供や多様なニーズに応える金融商品の開発を通じて、社会に対して新たな価値を提供することで、資産運用立国の実現を目指しています。

航空機リース分野においては、2025 年 1 月より大和エアボーン株式会社を通じて、超富裕層をはじめとするお客様に対して航空機投資機会の提供を開始しました。オルタナティブ投資の一つである航空機リースは、世界の民間航空機市場の成長とともにリース需要の拡大が想定されるなど、幅広く投資家にとって魅力的な投資商品となりうるとして注目される中、本件において ACL が航空機リース投資のソーシングや機材管理を務めるマッハ OE の取組みを支援するものです。ビジネスパートナーとしての MIC

やACLとの協働を通じて、大和証券グループ本社のグループ会社である大和アセットマネジメント株式会社及びDKAIが機関投資家等に対する航空機投資機会へのアクセスを提供し、貢献していきたいと考えております。

### ■ 各代表者のコメント

投資家に対するマッハOEの紹介、運用サービス等の支援を行う、DKAIの片山敦司代表取締役社長は以下のように述べています。

2001年12月の創業以降、当社はオルタナティブ投資専業の金融取引業者としてプライベートエクイティ、インフラ、不動産、ヘッジファンド等から航空機や船舶等のリアルアセットに至るまで、お客様の様々なニーズに合った商品や仕組みの発掘・開発・運用等のソリューション提供を行ってまいりました。2025年7月に新たに大和証券グループの一員となったことを受けて、これまで以上にお客様のオルタナティブ投資へのニーズにお応えすべく、大和証券グループ及びその協働先と連携して新たな投資機会の提供に向けて取り組んでおります。今般、その一環として本邦における航空機投資の先駆者であるマーキュリアインベストメント、Airborne Capitalと戦略的業務提携に関する覚書を締結することとなりました。今後、両社との提携を通じてオープンエンド型の航空機リース戦略という新しいソリューションをお客様に提供することで、お客様の長期的な資産形成のみならず、持続成長可能で豊かなグローバル社会の実現と資産運用立国の実現にも貢献してまいる所存です。

また、MICの豊島俊弘代表取締役は以下のように述べています。

航空機リースは、実需に根差して安定的なキャッシュフローをもたらす投資対象であり、海外ではオルタナティブ投資において重要な分野として認識されています。日本国内においては、減価償却や税金の繰り延べに着目した日本型オペレーティングリースが一般的な「航空機投資」として長く認識されていますが、マーキュリアインベストメントグループでは、2017年より航空機リース収入に伴うキャッシュフローを源泉としたファンド形式の航空機投資に取り組み、新型コロナ禍の中においても投資を継続してまいりました。昨今ではインフレーションへの懸念もあり、実需のあるモノへの投資が注目され、航空機投資にも多くの関心が寄せられています。当社は航空機投資ファンドをオープンエンド型にすることで投資家のニーズに対してより柔軟に対応することができると考え、このたび大和証券グループ各社やDBJからもご賛同頂き、マッハOEをスタートできることとなりました。新たなアセットクラスの提供を通じて投資家の皆様のご期待にお応えしていきたいと思います。

また、ACLのRamki Sundaram CEOは以下のように述べています。

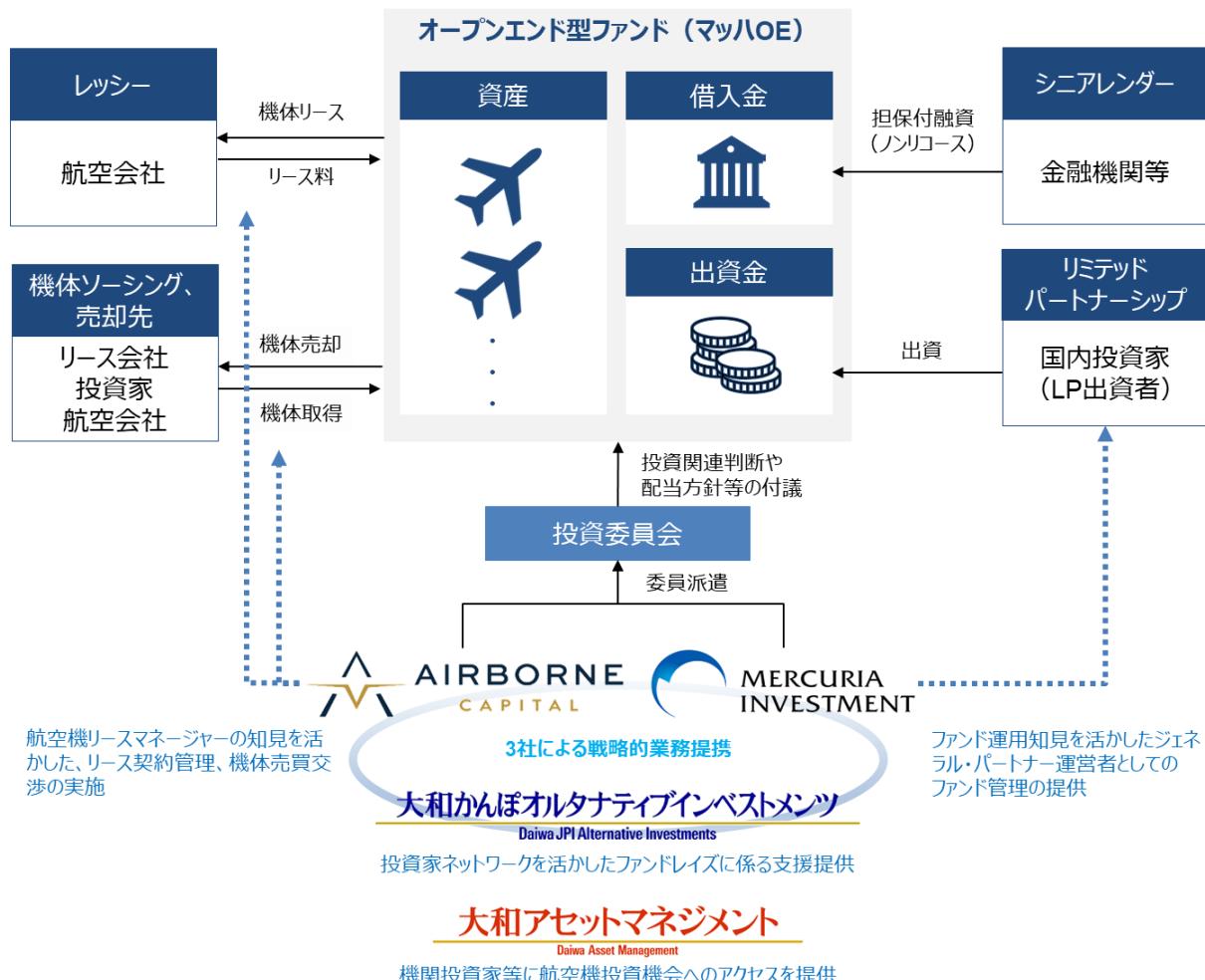
MIC及びDKAIと協力し、“本邦初”となる革新的なオープンエンド型航空機投資ファンドであるマッハOEを立ち上げられることを、大変うれしく思います。本ファンド及びその独自のストラクチャーは、キャッシュフローを生み出す航空機アセットを基盤として、他の資産と相関性が低く、一定の投資期間を通じて収益を得ることを想定した投資商品への投資機会を投資家の皆様にご提供します。

オープンエンド型のアーキテクチャは、市況の循環的リスクをより適切に管理できるよう設計されていると同時に、投資家に流動性を提供することを目的としています。

また、日本における Airborne Capital の事業が継続的に成長していることを、非常に喜ばしく思います。2019 年の日本市場参入以降、当社の航空機マネジメント事業は、マーキュリアインベストメント及び大和証券グループとの協業を通じて大きく成長してきました。マッハ OE は、こうした共同の取組みの成果を明確に示すものであり、日本の機関投資家向けに特化した、真に革新的な投資商品を提供するものです。

以上

### 【本件スキーム図】



### ■ 各社概要

#### 【株式会社マーキュリアインベストメントの概要】

会社名	：株式会社マーキュリアインベストメント
本社所在地	：東京都千代田区内幸町1丁目3番3号内幸町ダイビル
事業内容	：ファンド運用事業及び自己投資事業
代表者	：代表取締役 豊島 俊弘
Website	： <a href="https://www.mercuria.jp/">https://www.mercuria.jp/</a>

### 【Airborne Capital Limited の概要】

会社名 : Airborne Capital Limited  
本社所在地 : 5thFloor The Exchange George's Dock IFSC Dublin 1 Ireland  
事業内容 : 航空機リース案件の組成・管理、航空機関連アドバイザリーサービスの提供  
代表者 : Chief Executive Officer Ramki Sundaram  
Website : <https://airborne.capital/>

### 【株式会社大和証券グループ本社の概要】

会社名 : 株式会社大和証券グループ本社  
本社所在地 : 東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号グラントウキョウ ノースタワー  
事業内容 : グループ会社の事業活動の支配・管理  
代表者 : 代表執行役社長 萩野 明彦  
Website : <https://www.daiwa-grp.jp/>

### 【大和アセットマネジメント株式会社の概要】

会社名 : 大和アセットマネジメント株式会社  
本社所在地 : 東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号グラントウキョウ ノースタワー  
事業内容 : 投資運用業、投資助言・代理業、第二種金融商品取引業  
代表者 : 代表取締役社長 佐野 径  
Website : <https://www.daiwa-am.co.jp/>

### 【大和かんぽオルタナティブインベストメント株式会社の概要】

会社名 : 大和かんぽオルタナティブインベストメント株式会社  
本社所在地 : 東京都千代田区西神田 3-2-1 住友不動産千代田ファーストビル南館 11 階  
事業内容 : 投資運用業、投資助言・代理業、第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業  
代表者 : 代表取締役社長 片山 敦司  
Website : <https://www.daiwajpi-ai.com/>

### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社マーキュリアホールディングス 事業企画部 03-3500-9870

Airborne Capital Limited +44 203 178 68 68 / [airbornecapital@peregrinecommunications.com](mailto:airbornecapital@peregrinecommunications.com)

大和かんぽオルタナティブインベストメント株式会社 戦略企画部 03-6361-0472